

第 141 回 計測技術委員会議事録

日 時 平成 26 年 1 月 17 日 (金) 14 : 30 ~ 17 : 00

場 所 電気倶楽部 B 会議室

出席者 委員長 田辺 (電中研)

委 員 岩佐 (産総研)、黒川 (産総研)
作田 (日本大)、木本 (佐賀大)
竹内 (横河電機)、仲嶋 (三菱電機)

幹 事 作本 (日電検)、大谷 (アンリツ)

幹事補佐 小平 (日電検)

資 料

141-1 平成 26 年度 計測技術委員会活動計画 (三次案)

141-2 平成 26 年度 計測研究会開催予定 (三次案)

141-3 平成 25 年度 計測技術委員会 活動状況

141-4-1 平成 25 年電気学会 A 部門論文発表賞 A 賞割当数

141-4-2 平成 25 年優秀論文発表賞受賞者 (報告書)

141-4-3 計測研究会プログラム (2 月開催分)

141-4-4 計測研究会プログラム (3 月開催分)

141-4-5 計測、光応用・視覚合同研究会の開催にあたって

141-4-6 2 月研究会 (熊本) 意見交換会参加者名簿

141-4-7 平成 26 年度以降における研究会資料発表者への寄贈廃止について

141-5 電気学会 A 部門誌 記事提案用紙

141-6 第 8 回 スマートグリッドにおける計量トレーサビリティ調査専門委員会議事録

議 事

1. 議事録の確認

- ・異議なく承認された。

2. 運営委員会報告

田辺委員長より運営委員会の報告があった。

- ・調査専門委員会について、従来は標準規格を作る意識は無かったが、今後はそうなるもよいのではないかとの意見があった。
- ・特集論文についての議論があり、「論文誌を維持するための企画では協力しかねる。」「紙媒体でない特集論文はあまり意味がない。」「編修委員から委員会に出席してもらおう。」等の意見があった。
- ・調査専門委員会の会員の構成比率について、B 部門では、設立時では 5 割、継続時に 8 割で検討中である。
- ・「スマートグリッドと EMC 調査専門委員会」が解散した。技術報告は単行本の予定である。
- ・調査専門委員会の終了時の報告形態について、ほとんどが技術報告書である。

3. 平成 26 年度計測技術委員会活動計画及び計測研究会開催予定

作本幹事より資料 141-1 及び資料 141-2 に基づき、平成 26 年度計測技術委員会活動計画及び計測研究会開催予定の三次案について説明があった。

- ・活動計画について、二次案での意見を反映し、他部門の部門大会の日程を記載した。

- ・記載されている運営委員会の日程は特に決まっているわけではない。
- ・新規の調査専門委員会について、何か案があれば出してほしい。
- ・全国大会は、東京都市大学において開催予定である

4. 平成 25 年度活動状況等

作本幹事より資料 141-3 及び資料 141-4-1 から資料 141-4-7 に基づき、平成 25 年度活動状況等について報告があった。

- ・資料 141-3 において 12 月に記載のある運営委員会は行われていない。次回は 2 月の開催予定である。
- ・平成 25 年の優秀論文発表賞の割当数及び受賞候補者は、資料 141-4-1 及び資料 141-4-2 のとおりである。
- ・部門表彰の受賞候補者の 1 名については、計測研究会からではなく光応用・視覚研究会からのエントリーであるとの指摘があった。合同開催の研究会では、どこからエントリーしているかの確認方法がないため、検討の必要がある。
- ・2 月の熊本での研究会は、計測技術委員会及び光応用・視覚技術委員会との合同開催であり、2 月 6 日及び 7 日の 2 日間で行われ 10 件の発表を予定している。
- ・2 月の研究会について、初日の発表終了後、意見交換会の実施を予定している。
- ・3 月の研究会は 3 月 7 日に仙台市民会館で行い、6 件の発表を予定している。
- ・平成 26 年 4 月 1 日以降の研究会では、発表者への研究会資料の無料寄贈を廃止することになった。

5. 電気学会 A 部門誌 記事提案について

作本幹事より資料 141-5 に基づき、電気学会 A 部門誌の記事提案について説明があった。

- ・記事提案用紙については、前回の提案用紙の内容を参考に作成する。

6. 調査専門委員会について

岩佐委員より資料 141-6 に基づき、スマートグリッドにおける計量トレーサビリティ調査専門委員会について説明があった。

- ・第 8 回の議事内容については資料のとおりである。
- ・第 9 回については、平成 25 年 10 月 25 日に実施している。
- ・調査専門委員会での議論内容について、7 月以降の計測研究会で発表予定である。

7. その他

- ・IEEE の AWARD について、授与数が増えた。
- ・IEEE の AWARD 受賞者について、会員であるかの確認を厳格化する。
- ・任期が切れる委員の後任については調整中である。

次回予定

日 時 平成 26 年 4 月 18 日（金）14:30 ～ 17:00

場 所 未定